

# 箱根駅伝の事前調整に関する一考察

川崎 勇 二

- <目次>
- 1 はじめに
  - 2 目的
  - 3 対象
  - 4 結果と考察
  - 5 まとめ

## 1 はじめに

東京箱根間往復大学駅伝競走、通称、箱根駅伝は1920年（大正9年）から開催され、88年、84回にわたる歴史ある駅伝大会であることは周知の通りである。この箱根駅伝だが、長い歴史の中、コース・開催日・参加校数など様々な要素が変更され、現在に至っている<sup>(1)</sup>。コースについては、近年では第75回大会より、10区が日本橋を通るコースに変更され、距離が延びた。また、第82回大会より、4区が20kmに満たない18.5kmに短縮され、それに伴い、5区が23.4kmとなり、23kmを超える区間が10区間中、4区間となった（2, 5, 9, 10区）。開催日については、第31回（昭和30年）より、現在のような1月2日、3日の日程に固定された。また、参加校数については、第79回大会より、それまで長く続けられていた15大学から、19大学+1チーム（関東学連選抜）の20チームに変更された<sup>(2)</sup>。参加チームが増加したことに加え、各大学の力の拮抗によって、箱根駅伝は益々激戦化したように思われる。その箱根駅伝の出場権を決める予選会においても、1秒を争う激しい戦いになっている。現に、第83回箱根駅伝の予選会では、出場権を獲得できる9位と獲得できない10位とのチーム10人の合計タイム差が僅か1秒であった<sup>(3)</sup>。ちなみに、箱根駅伝の予選会は、20kmのロードレースに各大学12名の選手が出場し、上位10人の合計タイムで出場権を争うものである。したがって、このように1秒を争う厳しいレースとなるので、箱根駅伝に臨むにあたっては、予選会の負担はかなり大きくなっているものと思われる。また、予選会のみならず、大学によっては、出雲全日本大学選抜駅伝競走（10月中旬開催）、全日本大学駅伝競走（11月初旬）という、いわゆる大学3大駅伝と言われる駅伝への出場もある。これらの競技会は、少なからずとも箱根駅伝には何らかの影響はあるものと思われる。この箱根駅伝だが、過去に多数の研究報告があるが、箱根駅伝の事前の調整に関する研究報告は多くない<sup>(4)~(9)</sup>。

そこで、本研究は、箱根駅伝に各大学がどのように臨んでいっているの

か、特に、事前の競技会の出場状況、結果などの調整方法について分析検討した。

## 2 目的

本研究は、東京箱根間往復大学駅伝競走に参加した大学の事前の競技会、特に、箱根駅伝予選会（以降、予選会）、大学3大駅伝の出雲全日本大学選抜駅伝競走（以降、出雲駅伝）、全日本大学駅伝競走対校選手権（以降、全日本大学駅伝）<sup>(10)~(15)</sup>の結果と、箱根駅伝に参加した大学の選手個人の成績<sup>(16)~(21)</sup>（10000m、ハーフマラソンの自己記録）を調べた。

その結果から、箱根駅伝の事前の競技会の結果や、選手個人の成績などが、箱根駅伝本戦に与える影響など検討し、箱根駅伝の成績や結果の向上に寄与する有用な知見を得ることを目的とした。

## 3 対象

本学陸上競技部が出場した第79回（2003）大会から第84回（2008）大会までの6年間に、箱根駅伝に出場した全ての大学と、その間に出場した全ての選手を対象とした。比較検討する事前の競技会は、予選会、出雲駅伝、全日本大学駅伝とし、選手個人の成績は、10000mとハーフマラソンの自己記録とした。

## 4 結果と考察

### （1）事前競技会の結果

表1は、第79回から第84回までの箱根駅伝の総合成績を示したものである。また、表2は、箱根駅伝と共に学生3大駅伝と言われている一つの出雲



表2 第14回～19回 出雲全日本大学選抜駅伝 成績

順位/回	第14回 (2002.10.)	第15回 (2003.10.)	第16回 (2004.10.)	第17回 (2005.10.)	第18回 (2006.10.)	第19回 (2007.10.)
優勝	山梨学院大学	日本大学	日本大学	東海大学	東海大学	東海大学
2位	神奈川大学	大東文化大学	駒澤大学	中央大学	日本大学	日本大学
3位	駒澤大学	駒澤大学	中央大学	日本体育大学	東洋大学	日本体育大学
4位	第一工業大学	東海大学	東海大学	駒澤大学	日本体育大学	駒澤大学
5位	大東文化大学	山梨学院大学	日本体育大学	日本大学	駒澤大学	順天堂大学
6位	京都産業大学	順天堂大学	順天堂大学	第一工業大学	第一工業大学	東洋大学
7位	早稲田大学	中央大学	法政大学	京都産業大学	法政大学	中央大学
8位	亜細亜大学	東洋大学	大東文化大学	亜細亜大学	亜細亜大学	第一工業大学
9位	徳山大学	日本体育大学	京都産業大学	法政大学	順天堂大学	亜細亜大学
10位	順天堂大学	第一工業大学	神奈川大学	順天堂大学	立命館大学	早稲田大学
11位	中央大学	立命館大学	立命館大学	中央学院大学	山梨学院大学	立命館大学
12位	帝京大学	中央学院大学	東洋大学	神奈川大学	中央大学	米国 IVY
13位	中西国選抜	徳山大学	徳山大学	立命館大学	米国 IVY リーズ	日本文理大学
14位	北海道選抜	京都産業大学	東北選抜	立命館大学	京都産業大学	専修大学
15位	韓国選抜	中西国選抜	中西国選抜	徳山大学	日本文理大学	愛知工業大学
16位	日本大学	愛知工業大学	IVY リーズ	東北選抜	徳山大学	北信越選抜
17位	鹿屋体育大学	鹿屋体育大学	亜細亜大学	北海道選抜	東北選抜	中西国選抜
18位	東北選抜	東北選抜	北信越選抜	中西国選抜	名古屋大学	東北選抜
19位	IVY リーズ	北海道選抜	第一工業大学	北信越選抜	北海道選抜	大阪体育大学
20位	関西大学	IVY リーズ	福岡大学	中京大学	中西国選抜	北海道選抜
21位	北信越選抜	北信越選抜	愛知工業大学	鹿屋体育大学	北信越選抜	徳山大学

表 3 第35回～39回 全日本大学駅伝 成績

順位/回	34回 (2002.11.)	35回 (2003.11.)	36回 (2004.11.)	37回 (2005.11.)	38回 (2006.11.)	39回 (2007.11.)
優勝	駒澤大学	東海大学	駒澤大学	日本大学	駒澤大学	駒澤大学
2位	山梨学院大学	大東文化大学	中央大学	中央大学	日本大学	日本体育大学
3位	日本大学	山梨学院大学	中央大学	駒澤大学	中央大学	中央大学
4位	大東文化大学	駒澤大学	山梨学院大学	駒澤大学	駒澤大学	東海大学
5位	東海大学	日本体育大学	駒澤大学	日本体育大学	山梨学院大学	早稲田大学
6位	早稲田大学	中央学院大学	日本体育大学	大東文化大学	日本体育大学	山梨学院大学
7位	中央大学	日本大学	神奈川大学	神奈川大学	亜細亜大学	日本大学
8位	順天堂大学	法政大学	東海大学	東海大学	東海大学	大東文化大学
9位	法政大学	東洋大学	大東文化大学	中央学院大学	第一工業大学	拓殖大学
10位	東海大学	京都産業大学	亜細亜大学	第一工業大学	城西大学	中央学院大学
11位	京都産業大学	拓殖大学	京都産業大学	亜細亜大学	大東文化大学	順天堂大学
12位	神奈川大学	立命館大学	立命館大学	京都産業大学	神奈川大学	城西大学
13位	第一工業大学	國學院大学	中央学院大学	法政大学	明治大学	第一工業大学
14位	徳山大学	徳山大学	徳山大学	順天堂大学	立命館大学	立命館大学
15位	帝京大学	広島経済大学	東北福祉大学	専修大学	國學院大学	京都産業大学
16位	立命館大学	第一工業大学	第一工業大学	立命館大学	京都産業大学	日本文理大学
17位	四日市大学	大阪体育大学	広島経済大学	徳山大学	東海選抜	長崎国際大学
18位	愛知工業大学	東北福祉大学	東北大学	広島経済大学	日本文理大学	東海選抜
19位	鹿屋体育大学	福岡大学	四日市大学	近畿大学	徳山大学	高岡法科大学
20位	広島経済大学	四日市大学	大阪体育大学	大阪体育大学	近畿大学	愛知工業大学
21位	福岡大学	愛知工業大学	福岡大学	四日市大学	四日市大学	四日市大学
22位	名商大学	高岡法科大学	名古屋大学	東北福祉大学	奈良産業大学	東北福祉大学
23位	東北学院大学	北海道教育大学	高岡法科大学	東北学院大学	広島経済大学	広島経済大学
24位	信州大学	鹿屋体育大学	鹿屋体育大学	高岡法科大学	東北福祉大学	関西大学
25位	札幌学院大学	早稲田大学 ※ 参考記録	札幌学院大学	札幌学院大学	高岡法科大学	札幌学院大学
26位					札幌学院大学	広島大学

駅伝（第14～19回）の同年度の結果である。表3は、もう一つの学生3大駅伝の全日本大学駅伝（第34～39回）の同年度の結果を示したものである。

次に、表4～9は、第79回～84回の箱根駅伝の出場した各大学の選手の10000mの10人の平均タイム、チーム1番目のタイム、チーム10番目のタイムとハーフマラソンの10人の平均タイム、チーム1番目のタイム、チーム10番目のタイムを示したものである。

最後に、表10は、表1～9までの中央学院大学の部分のみを抜粋し、まとめたものである。

## （2） 比較検討結果と考察

### 1 箱根駅伝の結果と出雲駅伝の結果との関連性について

第79～84回の箱根駅伝の順位と第14～19回の出雲駅伝の順位との関連性について比較検討した。（表2）

まず、明確なことは、この6年間の出雲駅伝の優勝チームは、箱根駅伝での優勝がないことである。次に、出雲駅伝のシード権獲得となる3位までのチームが、その年度の箱根駅伝に優勝したのは6年間の内、3回であった。（第14回出雲駅伝3位⇒第79回大会優勝：駒澤大学、第15回出雲駅伝3位⇒第80回大会優勝：駒澤大学、第16回出雲駅伝2位⇒第81回大会優勝：駒澤大学）

また、出雲駅伝のシード権獲得チームが、箱根駅伝のシード権獲得となる10位以内に全て入ったのは、第81、82、83回の3大会であった。79、80回大会は2チーム、84回大会は1チームのみであった。

以上のことから、10月中旬に行われる出雲駅伝の結果は、箱根駅伝の優勝には関連性があまり高くないと思われる。しかし、箱根駅伝のシード権獲得については、6回の大会の内、3回の大会が出雲駅伝の上位3チームが全てシード権を獲得していることから関連性がないとは言いきれない。これは、出雲駅伝の全長が44.0 km（最短区間5.0 km，最長区間11.2 km：6区間）で、大学駅伝としては、距離も短く、区間も6区間であるのに対して、箱根駅伝の場合は、1区間（4区18.5 km）を除けば全て20km以上の距離で、区間も

表4 第79回 箱根駅伝 出場選手平均タイム

順位	大学	10000m			ハーフマラソン		
		10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム	10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム
優勝	駒澤大学	① 28:59.	④ 28:30.	① 29:19.	① 1:03:55	② 1:02:43	④ 1:05:19
2位	山梨学院大学	② 29:07.	① 28:16.	⑥ 30:10.	⑫ 1:04:43	① 1:01:56	⑩ 1:06:44
3位	日本大学 (予選会4位)	③ 29:14.	⑦ 28:34.	② 29:50.	③ 1:04:09	⑦ 1:03:02	⑫ 1:07:01
4位	大東文化大学	⑤ 29:23.	⑩ 28:53.	③ 29:56.	⑩ 1:04:35	⑩ 1:03:16	⑨ 1:06:34
5位	中央大学	④ 29:20.	② 28:17.	⑨ 30:17.	⑦ 1:04:26	⑥ 1:03:00	⑬ 1:07:04
6位	東洋大学 (予選会2位)	⑩ 29:37.	⑨ 28:47.	⑧ 30:17.	⑧ 1:04:34	⑪ 1:03:21	⑥ 1:05:37
7位	東海大学 (予選会1位)	⑥ 29:31.	⑭ 29:05.	④ 29:58.	④ 1:04:10	⑬ 1:03:26	② 1:05:01
8位	順天堂大学	⑭ 29:55.	⑯ 29:19.	⑯ 30:57.	⑮ 1:05:30	⑯ 1:03:48	⑯ 1:07:49
9位	日本体育大学 (予選会6位)	⑦ 29:31.	⑧ 28:44.	⑤ 30:05.	② 1:03:57	④ 1:02:54	① 1:04:41
10位	中央学院大学 (予選会5位)	⑧ 29:32.	⑥ 28:31.	⑩ 30:22.	⑥ 1:04:20	⑧ 1:03:02	⑦ 1:06:02
11位	神奈川大学	⑨ 29:33.	⑤ 28:31.	⑦ 30:16.	⑬ 1:04:52	③ 1:02:51	⑭ 1:07:09
12位	拓殖大学 (予選会7位)	⑩ 29:35.	⑮ 29:12.	⑪ 30:25.	⑨ 1:04:34	⑤ 1:02:59	⑪ 1:07:00
13位	帝京大学	⑫ 29:48.	⑯ 29:17.	⑫ 30:30.	⑮ 1:05:52	⑯ 1:04:11	⑰ 1:11:00
14位	國學院大学 (予選会8位)	⑮ 29:58.	⑯ 29:14.	⑬ 30:41.	⑯ 1:06:06	⑰ 1:04:20	⑮ 1:07:15
15位	早稲田大学	⑯ 30:00.	⑫ 28:59.	⑯ 31:00.	⑤ 1:04:17	⑨ 1:03:15	③ 1:05:10
16位	法政大学 (予選会3位)	⑯ 29:59.	⑬ 29:04.	⑮ 30:45.	⑭ 1:04:54	⑭ 1:03:27	⑧ 1:06:09
17位	亜細亜大学	⑯ 30:03.	⑯ 29:24.	⑬ 30:32.	⑪ 1:04:42	⑯ 1:03:23	⑤ 1:05:36
18位	関東学院大学 (予選会9位)	⑯ 30:30.	③ 28:24.	⑯ 32:08.	⑯ 1:06:18	⑮ 1:03:37	⑯ 1:08:23
19位	専修大学 (予選会10位)	⑬ 29:55.	⑩ 28:50.	⑮ 30:54.	⑯ 1:05:58	⑮ 1:03:43	⑯ 1:09:17
20位	関東学選抜 ※参考記録						



表5 第80回 箱根駅伝 出場選手平均タイム

順位	大学	10000m			ハーフマラソン		
		10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム	10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム
優勝	駒澤大学	① 29:04.	④ 28:36.	① 29:17.	① 1:03:34	⑤ 1:02:46	① 1:04:35
2位	東海大学	③ 29:26.	⑩ 28:59.	⑦ 30:11.	⑤ 1:04:37	③ 1:02:14	⑩ 1:07:26
3位	亜細亜大学(予選会2位)	⑮ 29:57.	⑰ 29:24.	⑩ 30:21.	⑪ 1:04:53	⑮ 1:03:54	② 1:06:09
4位	法政大学(予選会1位)	⑧ 29:31.	⑤ 28:38.	⑥ 30:10.	④ 1:04:36	⑫ 1:03:27	③ 1:06:09
5位	順天堂大学	⑩ 29:41.	⑮ 29:04.	⑮ 30:56.	⑯ 1:05:37	⑭ 1:03:39	⑰ 1:09:48
6位	東洋大学	⑪ 29:45.	⑨ 28:47.	⑪ 30:28.	⑬ 1:05:10	⑬ 1:03:27	⑭ 1:08:20
7位	中央大学	⑥ 29:28.	⑬ 28:55.	⑤ 30:06.	⑩ 1:04:46	⑪ 1:03:21	⑧ 1:06:36
8位	神奈川大学(予選会3位)	④ 29:26.	① 28:31.	③ 29:45.	⑦ 1:04:40	⑥ 1:02:51	⑤ 1:06:20
9位	日本体育大学	⑦ 29:31.	⑥ 28:40.	⑬ 30:36.	⑫ 1:04:57	⑦ 1:02:54	⑯ 1:08:32
10位	日本大学	② 29:17.	③ 28:34.	② 29:42.	② 1:04:28	② 1:02:09	⑩ 1:07:05
11位	中央学院大学	⑨ 29:33.	⑫ 28:54.	⑧ 30:14.	⑥ 1:04:39	④ 1:02:44	④ 1:06:19
12位	山梨学院大学	⑰ 29:59.	② 28:32.	⑮ 30:59.	⑨ 1:04:44	① 1:01:56	⑫ 1:07:36
13位	大東文化大学	⑤ 29:27.	⑯ 29:06.	④ 29:58.	③ 1:04:34	⑨ 1:03:12	⑥ 1:06:30
14位	帝京大学(予選会4位)	⑱ 29:59.	⑩ 28:49.	⑰ 31:32.	⑮ 1:05:35	⑱ 1:04:34	⑮ 1:08:25
15位	東京農業大学(予選会5位)	⑫ 29:52.	⑱ 29:26.	⑨ 30:18.	⑰ 1:05:58	⑰ 1:03:56	⑰ 1:11:15
16位	早稲田大学(予選会7位)	⑬ 29:52.	⑦ 28:43.	⑫ 30:30.	⑧ 1:04:42	⑧ 1:02:55	⑦ 1:06:33
17位	国土館大学(予選会9位)	⑭ 29:56.	⑧ 28:46.	⑭ 30:44.	⑰ 1:06:37	⑮ 1:03:43	⑱ 1:11:12
18位	関東学院大学(予選会6位)	⑲ 30:06.	⑱ 29:25.	⑰ 30:59.	⑱ 1:06:02	⑰ 1:04:54	⑨ 1:06:41
19位	城西大学(予選会8位)	⑯ 29:58.	⑪ 28:53.	⑱ 31:00.	⑭ 1:05:18	⑩ 1:03:19	⑬ 1:07:54
20位	関東学選抜 ※参考記録						

表 6 第81回 箱根駅伝 出場選手平均タイム

順位	大学	10000m			ハーフマラソン		
		10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム	10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム
優勝	駒澤大学	④ 29:21.	⑪ 28:54.	③ 29:53.	④ 1:04:09	⑤ 1:02:47	⑯ 1:07:08
2位	日本体育大学	② 29:17.	① 28:13.	⑤ 30:05.	① 1:03:44	④ 1:02:43	① 1:04:41
3位	日本大学	① 29:17.	③ 28:28.	② 29:50.	③ 1:04:03	⑧ 1:02:59	⑤ 1:05:33
4位	中央大学	③ 29:17.	② 28:27.	④ 29:54.	⑦ 1:04:20	③ 1:02:41	⑬ 1:06:36
5位	順天堂大学	⑤ 29:21.	⑦ 28:49.	① 29:48.	⑯ 1:04:58	⑫ 1:03:12	⑯ 1:06:59
6位	東海大学	⑩ 29:38.	⑬ 28:58.	⑪ 30:14.	⑥ 1:04:14	② 1:02:08	⑩ 1:06:13
7位	亜細亜大学	⑪ 29:43.	⑯ 29:26.	⑦ 30:08.	⑨ 1:04:25	⑯ 1:03:39	③ 1:05:12
8位	法政大学	⑥ 29:27.	⑥ 28:46.	⑧ 30:09.	⑨ 1:05:23	⑯ 1:04:12	⑮ 1:06:52
9位	中央学院大学(予選会 6位)	⑯ 29:52.	⑩ 28:54.	⑮ 30:37.	⑩ 1:04:39	⑨ 1:03:02	⑭ 1:06:43
10位	神奈川大学	⑬ 29:43.	⑮ 29:01.	⑨ 30:12.	⑯ 1:05:20	⑥ 1:02:48	⑰ 1:08:19
11位	早稲田大学(予選会 1位)	⑨ 29:38.	⑤ 28:43.	⑥ 30:06.	② 1:04:02	⑦ 1:02:55	② 1:04:54
12位	大東文化大学(予選会 2位)	⑧ 29:35.	⑫ 28:57.	⑬ 30:25.	⑮ 1:04:51	⑪ 1:03:12	⑨ 1:06:04
13位	東洋大学	⑮ 29:48.	⑰ 29:34.	⑭ 30:34.	⑭ 1:04:50	⑰ 1:03:38	⑥ 1:05:48
14位	山梨学院大学(予選会 5位)	⑦ 29:35.	④ 28:30.	⑩ 30:12.	⑤ 1:04:13	① 1:01:56	④ 1:05:28
15位	城西大学(予選会 8位)	⑯ 30:04.	⑨ 28:52.	⑰ 30:54.	⑪ 1:04:41	⑭ 1:03:27	⑦ 1:05:55
16位	帝京大学(予選会 9位)	⑰ 30:08.	⑧ 28:49.	⑱ 31:00.	⑫ 1:04:44	⑯ 1:03:37	⑧ 1:05:57
17位	専修大学(予選会 4位)	⑭ 29:45.	⑰ 29:03.	⑫ 30:14.	⑰ 1:05:11	⑩ 1:03:10	⑱ 1:07:12
18位	明治大学(予選会 3位)	⑰ 30:00.	⑭ 29:01.	⑯ 30:39.	⑧ 1:04:21	⑬ 1:03:21	⑪ 1:06:14
19位	拓殖大学(予選会 7位)	⑫ 29:43.	⑯ 29:02.	⑱ 30:57.	⑬ 1:04:45	⑮ 1:03:27	⑫ 1:06:20
20位	関東学選抜 ※参考記録						

表7 第82回 箱根駅伝 出場選手平均タイム

順位	大学	10000m			ハーフマラソン		
		10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム	10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム
優勝	亜細亜大学	⑧ 29:30.	⑩ 28:53.	⑥ 29:57.	④ 1:03:57	⑤ 1:02:38	④ 1:05:17
2位	山梨学院大学(予選会4位)	⑤ 29:20.	② 27:55.	⑦ 29:57.	⑤ 1:03:59	① 1:01:28	⑥ 1:05:26
3位	日本大学	② 29:11.	① 27:31.	④ 29:52.	③ 1:03:51	⑩ 1:02:56	⑦ 1:05:33
4位	順天堂大学	① 29:08.	④ 28:10.	③ 29:47.	⑧ 1:04:22	④ 1:02:37	⑮ 1:06:59
5位	駒澤大学	③ 29:12.	⑦ 28:37.	① 29:38.	② 1:03:50	⑧ 1:02:45	⑧ 1:05:36
6位	東海大学	⑥ 29:21.	③ 28:07.	⑩ 30:14.	① 1:03:13	② 1:02:08	① 1:04:07
7位	法政大学	⑨ 29:32.	⑨ 28:50.	⑨ 30:08.	⑮ 1:04:43	⑩ 1:03:55	⑪ 1:06:18
8位	中央大学	⑫ 29:38.	⑥ 28:27.	⑭ 30:26.	⑭ 1:04:39	⑮ 1:03:38	⑱ 1:08:18
9位	日本体育大学	④ 29:15.	⑤ 28:13.	⑧ 30:05.	⑥ 1:04:11	⑦ 1:02:43	⑨ 1:05:43
10位	東洋大学(予選会1位)	⑦ 29:25.	⑪ 28:52.	② 29:43.	⑱ 1:05:29	⑰ 1:03:41	⑲ 1:10:52
11位	城西大学(予選会6位)	⑱ 29:48.	⑯ 28:58.	⑱ 30:38.	⑩ 1:04:29	⑥ 1:02:39	③ 1:05:12
12位	大東文化大学(予選会5位)	⑯ 29:42.	⑮ 28:55.	⑪ 30:14.	⑦ 1:04:21	⑱ 1:03:43	② 1:05:04
13位	早稲田大学(予選会2位)	⑬ 29:38.	⑧ 28:38.	⑮ 30:30.	⑨ 1:04:23	③ 1:02:27	⑩ 1:05:50
14位	國學院大学(予選会3位)	⑩ 29:33.	⑰ 29:11.	⑤ 29:52.	⑪ 1:04:33	⑰ 1:03:27	⑤ 1:05:23
15位	専修大学(予選会9位)	⑭ 29:39.	⑩ 28:51.	⑫ 30:15.	⑬ 1:04:37	⑫ 1:03:09	⑭ 1:06:39
16位	神奈川大学	⑰ 29:48.	⑱ 29:12.	⑯ 30:36.	⑲ 1:05:29	⑯ 1:03:38	⑯ 1:07:06
17位	中央学院大学	⑮ 29:41.	⑬ 28:52.	⑲ 30:46.	⑰ 1:05:14	⑰ 1:03:05	⑰ 1:07:19
18位	明治大学(予選会8位)	⑪ 29:37.	⑫ 28:52.	⑬ 30:23.	⑫ 1:04:34	⑬ 1:03:19	⑫ 1:06:38
19位	国士館大学(予選会7位)	⑲ 29:56.	⑲ 29:20.	⑰ 30:37.	⑯ 1:05:02	⑨ 1:02:46	⑬ 1:06:38
20位	関東学選抜 ※参考記録						

表8 第83回 箱根駅伝 出場選手平均タイム

順位	大学	10000m			ハーフマラソン		
		10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム	10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム
優勝	順天堂大学	① 29:01.	④ 28:10.	① 29:25.	⑩ 1:04:12	⑭ 1:03:10	⑨ 1:06:05
2位	日本大学	③ 29:14.	② 28:06.	⑫ 30:22.	③ 1:03:32	⑦ 1:02:44	⑥ 1:05:33
3位	東海大学	⑨ 29:31.	③ 28:07.	⑪ 30:19.	② 1:03:30	③ 1:02:08	② 1:04:07
4位	日本体育大学	② 29:11.	⑤ 28:13.	④ 30:05.	⑧ 1:05:01	⑬ 1:03:09	⑮ 1:07:38
5位	東洋大学	⑦ 29:24.	⑬ 28:55.	⑰ 30:41.	⑥ 1:04:00	⑧ 1:02:45	⑤ 1:05:21
6位	早稲田大学(予選会1位)	⑧ 29:25.	⑦ 28:19.	⑥ 30:12.	④ 1:03:46	④ 1:02:26	③ 1:04:46
7位	駒澤大学	⑥ 29:24.	⑨ 28:48.	⑯ 30:30.	⑫ 1:04:25	⑰ 1:03:20	⑭ 1:06:34
8位	中央大学	⑤ 29:18.	⑧ 28:27.	② 29:50.	⑭ 1:04:41	⑪ 1:02:55	⑰ 1:07:59
9位	専修大学(予選会2位)	⑭ 29:35.	⑬ 28:51.	⑤ 30:09.	⑩ 1:04:10	⑨ 1:02:49	④ 1:05:20
10位	亜細亜大学	④ 29:16.	⑰ 28:57.	③ 29:57.	① 1:03:17	⑤ 1:02:36	① 1:03:53
11位	城西大学(予選会7位)	⑩ 29:31.	⑮ 28:54.	⑬ 30:24.	⑨ 1:04:10	⑥ 1:02:39	⑦ 1:05:42
12位	山梨学院大学	⑯ 29:37.	① 27:45.	⑩ 30:18.	⑤ 1:03:54	① 1:01:28	⑧ 1:05:45
13位	中央学院大学(予選会3位)	⑪ 29:32.	⑥ 28:17.	⑭ 30:25.	⑦ 1:04:01	② 1:01:50	⑩ 1:06:06
14位	大東文化大学(予選会8位)	⑮ 29:35.	⑯ 29:04.	⑨ 30:18.	⑮ 1:04:41	⑯ 1:03:21	⑮ 1:06:40
15位	法政大学	⑬ 29:33.	⑫ 28:50.	⑦ 30:13.	⑧ 1:04:07	⑩ 1:02:53	⑫ 1:06:18
16位	明治大学(予選会6位)	⑫ 29:32.	⑩ 28:52.	⑧ 30:14.	⑯ 1:04:46	⑯ 1:03:19	⑰ 1:06:56
17位	神奈川大学(予選会5位)	⑰ 29:44.	⑰ 29:08.	⑮ 30:26.	⑬ 1:04:32	⑰ 1:03:35	⑬ 1:06:32
18位	國學院大学(予選会4位)	⑱ 29:44.	⑩ 28:49.	⑰ 30:54.	⑰ 1:04:51	⑮ 1:03:16	⑯ 1:06:55
19位	国士館大学(予選会9位)	⑰ 29:42.	⑪ 28:50.	⑱ 30:48.	⑱ 1:05:07	⑫ 1:03:08	⑪ 1:06:12
20位	関東学選抜 ※参考記録						

表9 第84回 箱根駅伝 出場選手平均タイム

順位	大学	10000m			ハーフマラソン		
		10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム	10人平均タイム	1番目タイム	10番目タイム
優勝	駒澤大学	① 29:00.	⑨ 28:37.	② 29:43.	① 1:03:27	⑤ 1:02:31	① 1:03:54
2位	早稲田大学	⑤ 29:18.	③ 27:46.	④ 29:50.	⑫ 1:04:31	④ 1:02:26	⑫ 1:09:51
3位	中央学院大学(予選会1位)	⑬ 29:41.	⑥ 28:17.	⑬ 30:46.	⑦ 1:04:19	② 1:01:50	⑮ 1:07:06
4位	関東学選抜	⑥ 29:18.	⑬ 28:48.	③ 29:47.	⑬ 1:04:53	⑦ 1:02:49	⑬ 1:06:41
5位	亜細亜大学	⑦ 29:19.	⑭ 28:57.	① 29:41.	③ 1:03:40	⑥ 1:02:36	③ 1:05:00
6位	山梨学院大学(予選会4位)	⑮ 29:39.	② 27:45.	⑫ 30:18.	⑤ 1:04:05	① 0:59:48	⑭ 1:06:53
7位	中央大学	⑧ 29:20.	⑧ 28:27.	⑥ 29:58.	⑧ 1:04:25	⑬ 1:03:12	⑰ 1:07:42
8位	帝京大学(予選会2位)	⑫ 29:37.	⑯ 29:12.	⑧ 30:05.	⑩ 1:04:26	⑯ 1:03:34	⑫ 1:06:18
9位	日本大学	⑪ 29:29.	① 27:45.	⑬ 30:24.	⑥ 1:04:08	⑩ 1:03:06	⑦ 1:05:31
10位	東洋大学	⑨ 29:24.	⑮ 28:58.	⑩ 30:09.	⑬ 1:04:38	⑧ 1:02:55	⑯ 1:07:40
11位	城西大学(予選会3位)	③ 29:09.	⑫ 28:43.	⑤ 29:53.	④ 1:03:58	⑨ 1:03:03	④ 1:05:14
12位	日本体育大学	④ 29:17.	⑤ 28:00.	⑦ 30:03.	⑰ 1:05:32	⑯ 1:03:23	⑯ 1:07:13
13位	国士館大学(予選会7位)	⑯ 29:41.	⑯ 29:02.	⑯ 30:50.	⑯ 1:05:19	⑫ 1:03:08	⑰ 1:07:29
14位	専修大学	⑰ 30:00.	⑳ 29:36.	⑮ 30:40.	⑭ 1:04:40	⑳ 1:03:44	⑤ 1:05:23
15位	神奈川大学(予選会6位)	⑭ 29:39.	⑰ 29:07.	⑪ 30:17.	⑨ 1:04:25	⑰ 1:03:34	⑩ 1:05:55
16位	法政大学(予選会9位)	⑳ 30:14.	⑰ 29:29.	⑳ 30:59.	⑯ 1:04:44	⑪ 1:03:07	⑧ 1:05:47
17位	東京農業大学(予選会8位)	⑬ 29:38.	⑪ 28:42.	⑮ 30:38.	⑮ 1:04:41	⑭ 1:03:21	⑨ 1:05:51
	東海大学 ※10区途中棄権	② 29:07.	④ 27:52.	⑭ 30:32.	② 1:03:35	③ 1:02:08	② 1:04:54
	大東文化大学(予選会5位) ※9区途中棄権	⑩ 29:29.	⑩ 28:41.	⑨ 30:09.	⑪ 1:04:28	⑮ 1:03:21	⑥ 1:05:30
	順天堂大学 ※5区途中棄権	⑯ 29:42.	⑦ 28:27.	⑰ 30:40.	⑰ 1:05:24	⑰ 1:03:30	⑪ 1:06:12

表10 中央学院大学の箱根駅伝の結果と関連大会の結果等

	2003年 箱根駅伝79回大会		2004年 箱根駅伝80回大会		2005年 箱根駅伝81回大会		2006年 箱根駅伝82回大会		2007年 箱根駅伝83回大会		2008年 箱根駅伝84回大会	
	10位 11'17'33"	往路：11位 復路：6位	11位 11'23'33"	往路：8位 復路：13位	9位 11'14'35"	往路：11位 復路：9位	17位 11'22'22"	往路：18位 復路：8位	13位 11'14'35"	往路：6位 復路：15位	3位 11'11'05"	往路：5位 復路：2位
箱根駅伝総合成績	5位	シード校	12位	シード校	6位	シード校	11位	シード校	3位	シード校	1位	
箱根駅伝予選会成績	未出場		12位		未出場		11位		未出場		未出場	
出雲駅伝成績	未出場		6位		13位		9位		未出場		10位	
全日本大学駅伝成績	未出場		6位		16位		15位		11位		17位	
10000m 平均タイム	29'31"7		29'32"6		29'52"4		29'41"5		29'32"0		29'41"3	
10000m 1 番目タイム	6位 28'31"1		12位 28'54"1		10位 28'53"5		13位 28'52"5		6位 28'16"6		6位 28'16"6	
10000m 10番目タイム	10位 30'22"5		8位 30'14"1		15位 30'36"9		19位 30'45"8		14位 30'25"1		18位 30'45"6	
ハーフマラソン 平均タイム	6位 1'04'20"		6位 1'04'39"		10位 1'04'39"		17位 1'05'14"		7位 1'04'01"		7位 1'04'19"	
ハーフマラソン 1 番目タイム	8位 1'03'02"		4位 1'02'44"		9位 1'03'02"		11位 1'03'05"		2位 1'01'50"		2位 1'01'50"	
ハーフマラソン 10番目タイム	7位 1'06'02"		4位 1'06'19"		14位 1'06'43"		17位 1'07'19"		10位 1'06'06"		15位 1'07'06"	

10区間となる。

したがって、箱根駅伝の場合は、各区間の距離が長くなることと、区間も10区間で選手も4人増える。故に、長い距離への適応能力と選手層の厚さが問われる。言い換えれば、選手層が厚くなくても、トラック競技の中・長距離走を得意とする、いわゆるスピードタイプの選手がいるチームは、出雲駅伝では好成績が残せる可能性が高いことが推察できる。

## 2 箱根駅伝の結果と全日本大学駅伝の結果との関連性について

第79～84回の箱根駅伝の順位と第34～39回の全日本大学駅伝の順位との関連性について比較検討した。

最初に、この6年間、全日本大学駅伝に優勝したチームが、その年度の箱根駅伝で優勝したのは、6年間の内、3回であった（第79、81、84回大会優勝：いずれも駒澤大学）。次に、全日本大学駅伝のシード権獲得となる6位までのチームが、その年度の箱根駅伝で優勝したのは、6年間の内、5回であった。唯一、第82回大会優勝の亜細亜大学（全日本大学駅伝11位）のみが、全日本大学駅伝のシード権を獲得できなかった。また、全日本大学駅伝のシード権獲得チームの全てが、箱根駅伝のシード権を獲得した大会はなかった。第79回大会は5チーム、80回大会は3チーム、81回、82回、83回大会は5チーム、84回大会は4チームが箱根駅伝のシード権を獲得した。

以上の結果から、11月初旬に行われる全日本大学駅伝の結果は、箱根駅伝での優勝やシード権獲得には、関連性がないとは言えない。むしろ、関連性が高いと言っても過言ではないと思われる。これは、全日本大学駅伝が全長106.8 km（最短区間9.5 km，最長区間19.7 km：8区間）で、箱根駅伝と同等な距離区間が1区間、他の7区間も9.5 km～14.6 kmで、箱根駅伝の $\frac{1}{2}$ ～ $\frac{3}{4}$ 程度の距離であることと、8区間で箱根駅伝より2区間少ないだけなので、箱根駅伝の縮小的な駅伝であることが関連性を高めていると考えられる。しかしながら、全日本大学駅伝は箱根駅伝の縮小的な駅伝とは言え、2ヶ月程前の競技会である。したがって、この2ヶ月間、さらに長い距離への

適応力を高め、チームの選手層を厚くしていくことが課題となると思われる。また、その課題の克服が箱根駅伝での好成績に結びついていくものと推察できる。

### 3 箱根駅伝の結果と予選会の結果との関連性について

第79～84回の箱根駅伝の順位と10月中旬から下旬にかけて行われる予選会の順位との関連性について比較検討した(表3)。

最初に、この6年間、予選会を勝ち抜いてきたチームからの箱根駅伝優勝はなかった。現在、予選会においては、関東学連選抜チームを除く、9チーム(大学)が箱根駅伝への出場権を得ることができる。この予選会から勝ち抜いてきたチームが、箱根駅伝のシード権を獲得したのが、第79回大会5チーム(予選会4位, 2位, 1位, 6位, 5位), 第80回大会3チーム(予選会2位, 1位, 3位), 第81回大会1チーム(予選会6位), 第82回大会2チーム(予選会4位, 1位), 第83回大会2チーム(予選会1位, 2位), 第84回大会3チーム(予選会1位, 4位, 2位)であった。

以上の結果から、第81回大会の1チーム(予選会6位)を除くと、予選会を経て箱根駅伝に出場するチームは、予選会を上位で勝ち抜かないと、シード権獲得は極めて厳しいことがわかる。ちなみに、第81回大会は、予選会6位の1チームだけがシード権を獲得したが、この唯一のチームが本学中央学院大学である。また、箱根駅伝の2ヶ月以上前の予選会とは言え、予選会を上位で通過し出場権を得ることは、チームや選手の中でモチベーションが高くなり、本戦で戦う気持ちが高まるものと思われる。しかし、箱根駅伝に出場することを目標とするチームは、予選会を勝ち抜くと、その結果に満足してしまう傾向にあると思われる。したがって、予選会の結果のよし悪しに関わらず、出場権を得たチームは、どのように箱根駅伝に臨むかを直ちに立案し検討していかないと、シード権の獲得は極めて難しいものになると思われる。



#### 4 箱根駅伝の結果と10000m、ハーフマラソンの記録との関連性について

第79～84回の箱根駅伝の順位と10000m、ハーフマラソンの記録との関連性について比較検討した(表4～9)。

はじめに、第79～84回大会の箱根駅伝の優勝チームの10000m、ハーフマラソンの出場選手10人の平均タイムをみてみると、第79回大会優勝の駒澤大学の10000mは出場チーム中1位、ハーフマラソンも1位、第80回大会優勝の駒澤大学は10000m 1位、ハーフマラソン1位、第81回大会優勝の駒澤大学は10000m 4位、ハーフマラソン4位、第82回大会優勝の亜細亜大学は10000m 8位、ハーフマラソン4位、第83回大会優勝の順天堂大学は10000m 1位、ハーフマラソン11位、第84回大会優勝の駒澤大学は10000m 1位、ハーフマラソン1位であった。出場選手10人の10000mの平均タイムは、6大会中4大会で1位のチームが優勝しており、関連性が高いと言っても過言ではない。また、ハーフマラソンについては、10人の平均タイムが6大会中3大会で1位のチームが優勝していることから、10000mより1大会少ないが、関連性が高いものと思われる。

次に、第79～84回大会のシード権獲得チーム(10位以内)で、10000mの10人の平均タイムが、出場チーム中、シード権獲得順位と同じ10位以内のチームをみてみると、第79回大会は8チーム、第80回大会8チーム、第81回大会7チーム、第82回大会9チーム、第83回大会9チーム、第84回大会6チームであった。各大会6～9チームと多く、10000mの平均タイムを高めることは、箱根駅伝のシード権を獲得するには有用であると言えよう。また、同様にハーフマラソンの平均タイムが10位以内のチームをみてみると、第79回大会は7チーム、第80回大会6チーム、第81回大会7チーム、第82回大会7チーム、第83回大会6チーム、第84回大会7チームであった。10000mの場合ほどチーム数は多くないが、各大会6～7チームで、ハーフマラソンの平均タイムを高めることも、箱根駅伝のシード権獲得には有用であると言っても過言ではないものと思われる。

しかしながら、上記の10000m、ハーフマラソンの記録については、出場する競技会によって大きく変わってくる。陸上競技の長距離走、特に、その競技の距離が長くなればなるほど、状況と条件によって記録は大きく左右される。<sup>(2)(23)</sup>例えば、開催される時期や時刻によって、気温を中心とする気象条件が大きく異なる。また、ハーフマラソンのように競技場外で行われるロード競技は、コース状況（起伏の有無、折り返しの有無、曲角の有無、路面の状態など）によっても、結果は大きく左右される。<sup>(2)(25)</sup>箱根駅伝の出場チームが同じ競技会に出場していれば、比較は容易だが、各チームで異なる10000m、ハーフマラソンのレースに出場しているので、単純な比較は困難である。また、チームによっては、一般的に比較的好記録が出やすいと言われる秋・冬のレースに積極的に出場しないチームもある。したがって、容易に10000m、ハーフマラソンの平均タイムを高めることが、箱根駅伝の結果に有用であると明言できない一面もある。

## 5 中央学院大学の箱根駅伝の結果と考察

本学中央学院大学陸上競技部は、チームの活動の最大の目標を箱根駅伝としている。その本学の第79～84回の6大会の箱根駅伝の結果（表10）をみると、最高順位は3位（84回大会）、最低順位17位（82回大会）で、シード権獲得が3回（79回：10位，81回：9位，84回：3位）、シード落ちが3回（80回：11位，82回：17位，83回：13位）であった。

第79～84回大会の箱根駅伝の全出場チームの場合、先に述べたとおり、出雲駅伝の結果と箱根駅伝の結果とは、あまり関連性がなかったが、全日本大学駅伝の結果とは、関連性が高いと推察できた。しかし、本学の場合は、過去の4回の全日本大学駅伝の結果と箱根駅伝の結果をみると、第35回全日本大学駅伝6位⇒第80回箱根駅伝11位、第36回全日本13位⇒第81回箱根駅伝9位、第37回全日本9位⇒第82回箱根駅伝17位、第39回全日本10位⇒第84回箱根駅伝3位で、関連性があるとは言い難い。

次に、10000mとハーフマラソンの10人の平均タイムを高めることは、箱

根駅伝の優勝、シード権獲得には有用であり、特に、10000mの平均タイムを高めることは極めて有用であると先に述べた。しかしながら、本学の場合は、シード権を獲得した大会の10000mの平均タイムは、第79回大会時は8位、第81回大会時は16位、第84回大会時は17位であった。本学の場合は、10000mの平均タイムが箱根駅伝の結果に反映したとは言い難い。ハーフマラソンの平均タイムについては、第79回大会時は6位、第81回大会時は10位、第84回大会時は7位であった。10000mと異なり、10位以内の順位ではあるが、シード権を獲得できなかった第80回、83回大会時は6位、7位という結果からも、シード権獲得時もシード落ちの時も大きな差はなく、関連性があるとは言い難い。本学の場合、10000m、ハーフマラソンの平均タイムが最も良かったのは、両種目共に第79回大会時で10000m 8位、ハーフマラソン6位であった。また、第80回大会時も10000m 9位、ハーフマラソン6位で、79回大会時と変わりなく良かった。79回大会は10位でシード権を獲得し、80回大会は11位で惜しくもシード権を逃した。79回大会は4年ぶりの出場で初のシード権獲得となった。80回大会は箱根駅伝のシード権は逃したが、同年度の全日本大学駅伝で初出場ながら、6位でシード権を獲得した。第79回、80回の両大会をみると、79回大会は往路11位、復路6位と復路の追い上げで、かろうじてシード権を僅差で獲得した。この大会時は、10000m、ハーフマラソンの平均タイムも8位、6位と10位以内に入ったが、両種目のチーム1番目のタイム、チーム10番目のタイムも全て10位以内に入った。これは、第79～84回大会の中で、唯一79回大会のみであった。これは、あらゆる競技面において、シード権を獲得するためのチーム全体の力と個人の力の引き上げに成功し、4年ぶりの出場にもかかわらず、成すべきしてシード権を獲得したものと思われる。80回大会は、往路8位、復路13位で、戦力を温存していた復路の選手が逆に伸び悩み後退し、予定を大きく下回った。この大会時は、前年度(79回)4年ぶりに出場した箱根駅伝で初のシード権を獲得し、選手個人の力も他大学と引けを取らない走力をつけ、事前の全日本大学駅伝でも初出場ながら、6位でシード権を獲得した。しか

も、箱根駅伝も1日目の往路で8位とシード権内に入り、復路も力のある選手を配置していたので、チーム全体、指導者、選手ともに、シード権の獲得は、もう大丈夫という油断があったように思われる。それが、復路13位という思わぬ結果で、11位とあと一步のところでシード権を逃してしまった。このことは、大いに反省し、翌年度、選手個人の力は前年度のように高くはなかったが、予選会6位ながら、予選会から勝ち抜いてきたチームから唯一シード権を獲得した(第81回大会9位)。

また、本学は、第84回大会は過去最高の3位という結果であったが、先にも述べたとおり、それを上回る順位、または優勝するためには、2ヶ月前の全日本大学駅伝での成績を上げること、また、10000m、ハーフマラソンの平均タイム、特に、10000mの平均タイムを高めていくことが必要であると思われる。しかしながら、箱根駅伝を最大の目標としている本学は、全日本大学駅伝の優勝や上位入賞を目指すのではなく、箱根駅伝に向けての調整段階の状況の中でも、全日本大学駅伝で上位の結果を収めることが求められる。また、10000mやハーフマラソンについても、10000mやハーフマラソンの記録向上を目標にするのではなく、調整段階の中でも、記録を高められるようでないとい、箱根駅伝での更なる上位、優勝は極めて困難であると思われる。これらのことは、第79～84回の6年間の箱根駅伝で4回優勝している駒澤大学の全日本大学駅伝の結果や10000m、ハーフマラソンの平均タイムをみしてみると明らかである。

しかし、10000mやハーフマラソンの個人の記録を高めるためには、秋冬の駅伝シーズンになると、その種目に力を注げない一面がある<sup>(20)(27)</sup>ので、選手個人のレベルアップのためには、駅伝シーズンでない時期に兩種目のレースに出場し、記録向上を目指すのが望ましいと思われる<sup>(28)(29)</sup>。すなわち、10000mの場合は、トラックシーズンと言われる4月から7月に選手個人が積極的に記録向上にチャレンジし、ハーフマラソンの場合は、箱根駅伝終了後のロードシーズンと言われる1月以降のレースで積極的に記録向上に臨むことが必要であると思われる。

## 5 まとめ

本研究は、第79～84回東京箱根間往復大学駅伝競走の全ての参加チームの事前の競技会（箱根駅伝予選会、出雲全日本選抜駅伝、全日本大学駅伝）の結果と出場選手の10000m、ハーフマラソンの結果が、箱根駅伝の結果にどのように反映するのか、どのような関連性があるのかを分析検討した。

その結果、出雲駅伝の結果と箱根駅伝の結果との関連性はあまりなかったが、全日本大学駅伝の結果と箱根駅伝の結果との関連性は強く、箱根駅伝のシード権獲得のためには全日本大学駅伝で好成績を収めることが有用であると考えられた。また、10000m、ハーフマラソンの平均タイム、特に10000mの平均タイムを高めることも、箱根駅伝の成績向上につながる事が推測できた。

以上のことから、本学も今後、箱根駅伝での上位進出、シード権獲得のためには、現状のままでは厳しい状況に追い込まれていくことが推察されるので、全日本大学駅伝の出場権を得て、そこで上位通過を目指し、また、選手個人の10000m、ハーフマラソンの記録を高めていくことが必要とされる。

しかしながら、今回、本研究は、箱根駅伝の事前競技会は箱根駅伝予選会、出雲駅伝、全日本大学駅伝の3競技会のみと比較検討であった。今後は、この3競技会で最も遅い時期の全日本大学駅伝以降の出場する競技会の有無やその成績結果、また、箱根駅伝までの最も重要となる全日本大学駅伝以降の約2ヶ月間の調整方法など、様々な角度から調査し、さらに詳細に検討する必要があるものと思われる。

### 〔引用・参考文献〕

- (1) 関東学生陸上競技連盟：箱根駅伝70年史，陸上競技社，1989.
- (2) 関東学生陸上競技連盟：箱根駅伝80回大会記念誌史，陸上競技社，2004.
- (3) 池田哲雄（編）：陸上競技マガジン，ベースボール・マガジン社，第56巻第

15号, 44-51, 2006.

- (4) 有吉正博：東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）本大会および予選会における記録の推移から見た現状と課題，陸上競技研究，44，28-33，1991.
- (5) 金丸キミエ，宮広重夫，三宅勝次，坂口泰，新畑茂充：駅伝ランナーの体格（VI）—第70回東京箱根間往復関東大学駅伝競走大会に出場したランナーについて—，教育医学，40（4），241-247，1995.
- (6) 川崎勇二：箱根駅伝出場選手の血液性状の変動に関する研究，中央学院大学総合科学研究所紀要，第13巻第1号，131-163，1997.
- (7) 小松昌利，有吉正博，繁田進：東京箱根間往復大学駅伝競走に関する調査・研究—予選会の特性と記録の年次的推移について—，陸上競技研究，32，40-42，1998.
- (8) 澤村博，奈良雅之：東京箱根間往復大学駅伝競走におけるレース中の情報に関する調査，陸上競技研究，10，24-30，1992.
- (9) 前河洋一，山本正嘉，山本利春，大塚正美：箱根駅伝出場選手の体力特性，国際武道大学紀要，9，55-60，1993.
- (10) 廣瀬豊（編）：月刊陸上競技，講談社，第36巻第13号，2002.
- (11) 廣瀬豊（編）：月刊陸上競技，講談社，第37巻第13号，2003.
- (12) 廣瀬豊（編）：月刊陸上競技，講談社，第38巻第13号，2004.
- (13) 廣瀬豊（編）：月刊陸上競技，講談社，第39巻第13号，2005.
- (14) 廣瀬真（編）：月刊陸上競技，講談社，第40巻第13号，2006.
- (15) 廣瀬真（編）：月刊陸上競技，講談社，第41巻第14号，2007.
- (16) 廣瀬豊（編）：箱根駅伝公式ガイドブック，陸上競技社・講談社，月刊陸上競技第37巻第2号，2003.
- (17) 廣瀬豊（編）：箱根駅伝公式ガイドブック，陸上競技社・講談社，月刊陸上競技第38巻第2号，2004.
- (18) 廣瀬豊（編）：箱根駅伝公式ガイドブック，陸上競技社・講談社，月刊陸上競技第39巻第2号，2005.
- (19) 廣瀬豊（編）：箱根駅伝公式ガイドブック，陸上競技社・講談社，月刊陸上競技第40巻第2号，2006.
- (20) 廣瀬真（編）：箱根駅伝公式ガイドブック，陸上競技社・講談社，月刊陸上競技第41巻第2号，2007.
- (21) 廣瀬真（編）：箱根駅伝公式ガイドブック，陸上競技社・講談社，月刊陸上競技第42巻第2号，2008.
- (22) 高橋進，帖佐寛章：中長距離走，講談社，160-169，1984.
- (23) 永井純：最新陸上競技入門シリーズ「中・長距離，障害」，ベースボールマ

ガジン社, 25-30, 1989.

- (24) 江橋博：マラソンで勝つためのトレーニング，競技力向上のスポーツ科学II（トレーニング科学研究会編），朝倉書店，30-40，1990.
- (25) 小林寛道：走る科学，大修館書店，56-60，1990.
- (26) 桑原仁史，有吉正博，繁田進：国内一流長距離・マラソン選手のトレーニング方法に関する分析的研究，陸上競技研究，5，18-24，1991.
- (27) 松井秀治（編著）：コーチのためのトレーニング科学，大修館書店，355-367，1983.
- (28) 石河利寛，竹宮隆（編）：持久力の科学，杏林書院，234-252，1994.
- (29) 原田明正，寺田光世，清水龍太郎：大学長距離走者のトレーニング量の周期性及びその量と競技記録の関連性，陸上競技研究，9，2-9，1992.